



**DEEBOT **120** OMNI**  
**取扱説明書/Instruction Manual**

## 安全に関する重要注意事項

### 安全に関する重要注意事項

本製品を使用する際は、以下を含む基本的な取扱注意事項に必ず従ってください。

**本製品のご使用前に、すべての注意事項をお読みください。この取扱説明書は保管してください。**

1. この機器は、安全に責任を負う人の監視又は指示がない限り、補助を必要とする人（子供を含む）が単独で機器を用いることを意図していません。
2. お子様がお製品を使つて遊ばないようにしてください。
3. 掃除する場所を片付けてください。本製品に絡まる可能性のある電源コードや小さな物体は床から取り除いてください。カーペット等の敷物端のふさ飾りは敷物の下に押し込み、カーテンやテールブルクロスなどは床から持ち上げてください。
4. 掃除する領域内に段差や階段のような落下する場所がある場合は、本製品が段差を検知し、端から落下しないかどうかを確認してからご使用ください。段差を検知できない場合、落下を防止するために段差の縁に囲いを置いてください。段差に置いた囲いにつまづかないように注意してください。

5. 必ず本取扱説明書に記載されている通りに使用してください。メーカーによって推奨あるいは販売されている消耗品・付属品のみを使用してください。
6. ご家庭の屋内でのみ使用するようにしてください。本製品は、屋外使用、ビジネスあるいは産業用途での使用を想定していません。
7. ダストボックスやフィルターを所定の位置に取り付けていない状態で使用しないでください。
8. 火の灯ったロウソクや壊れやすい物のある場所で使用しないでください。
9. 髪、絡まりやすい衣服、指、その他身体の一部を開口部や動いている部分に近づけないでください。
10. 幼児や子供が眠っている部屋で本製品を使用しないでください。
11. 濡れた床や水が溜まっている床で本製品を使用しないでください。
12. 本製品に石、大きな紙片、その他詰まる可能性のある物体を吸引させないでください。
13. ガソリン、プリンターやコピー機のトナーなど引火性あるいは可燃性の物質を本製品に吸引させないでください。またそのような物が存在する可能性のある場所で使用しないでください。
14. 燃えている、または煙が出ている物体（タバコ、マッチ、熱い灰など）を本製品に吸引させないで

- ください。発火の原因となります。
15. 吸入口に異物を入れないでください。吸入口が塞がれている場合は、使用しないでください。吸入口にほこり、糸くず、髪、その他空気の流れを弱める可能性のある物体がたまらないようにしてください。
  16. 電源コードが損傷している場合は、危険を避けるため、メーカーまたはサービス代理店による交換が必要になります。
  17. 本製品の清掃やメンテナンス作業を行う前に、電源スイッチをオフにしてください。
  18. Ch2232 に適したリチウムバッテリータイプは、最大電池数 8 個、最大公称電圧 DC 14.4V、定格 4,800mAh です。本製品を破棄する前に、バッテリーを取り外して、ご使用の地域の法規制に従って廃棄する必要があります。
  19. 使用済みのバッテリーは、各自治体の指示に従って廃棄するようにしてください。
  20. 損傷が激しい場合でも、本製品は焼却しないでください。焼却するとバッテリーが爆発する可能性があります。
  21. 本製品は、本取扱説明書の指示に従ってご使用ください。Ecovacs Home Service Robotics は、不適切な使用に起因するいかなる損傷または負傷に対しても一切の責任を負いません。
  22. ロボットのバッテリーは熟練者のみが交換できます。ロボットのバッテリーの交換については、サポートセンターまでお問い合わせください。
  23. ご使用環境の電源電圧が、全自動クリーニングステーションに記載されている電圧と一致していることをご確認ください。
  24. 本製品に付属する製造元純正の充電バッテリーおよび全自動クリーニングステーションのみを使用してください。充電式ではないバッテリーは使用できません。
  25. 電源コードを損傷しないように注意してください。電源コードで本製品や全自動クリーニングステーションを引っ張ったり、電源コードを持ち手にして運んだりしないでください。また電源コードを挟んだままドアを締めたり、鋭利な端や角の周辺で電源コードを引っ張ったりしないでください。電源コードの上で本製品を動作させないでください。電源コードは、熱を持った場所から離れた場所に置いてください。
  26. 全自動クリーニングステーションが損傷している場合は使用しないでください。電源に損傷や欠陥がある場合、その電源を修理することも使用することもできません。
  27. 電源コードやコンセントに損傷がある場合は使用しないでください。本製品または全自動クリー

ニングステーションが適切に動作しない場合、または落下、損傷、屋外放置、水濡れなどがあった場合は、本製品または全自動クリーニングステーションを使用しないでください。危険を避けるため、メーカーまたはサービス代理店による修理が必要となります。

28. 全自動クリーニングステーションの清掃やメンテナンス作業前には、コンセントから電源プラグを抜いてください。
29. 本製品を処分する場合は、バッテリーを取り外す前に、本製品を全自動クリーニングステーションから取り外し、本製品の電源スイッチをオフにしてください。
30. 全自動クリーニングステーションを長時間使用しないときは、電源を切ってください。
31. 長期間ロボットを使用しない場合には、ロボットの電源をオフにし、全自動クリーニングステーションから外して保管してください。
32. 警告 - 洗浄水タンクにはきれいな水だけを追加してください。
33. **警告:** バッテリーの充電には、本製品に付属している取り外し可能電源アダプター CH2232 を必ず使用してください。

高周波 (RF) 曝露に関する要件を満たすために、本機器の動作中は本機器と人の間の距離を 20 cm 以上離れたままにする必要があります。

要件を順守するために、この距離よりも近い距離での動作はお勧めしません。この送信器に使用するアンテナは、他のアンテナや送信器と同じ場所に設置しないでください。

### デバイスの更新

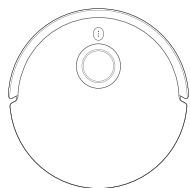
一部のデバイスは、通常、隔月で更新されますが、絶対ではありません。

一部のデバイス、特に発売から 3 年以上経過したデバイスは、重大な脆弱性が見つかって修正された場合にのみ更新されます。

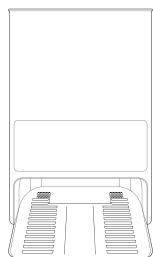


	短絡防止の安全絶縁変圧器
	スイッチモード電源
	屋内使用専用
	直流
	交流
	充電する前に、取扱説明書をお読みください。
	充電ポートの極性
	遅延ミニチュアヒューズリンク

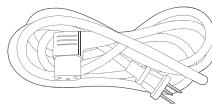
## パッケージ内容



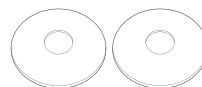
ロボット



全自動クリーニングステーション



電源コード



洗えるモップパッド



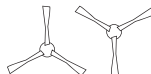
モップパッドプレート



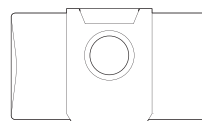
取扱説明書



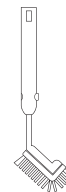
メンテナンスツール



デュアルサイドブラシ



ダストバッグ

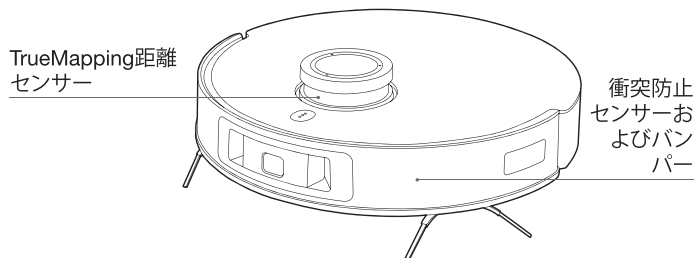
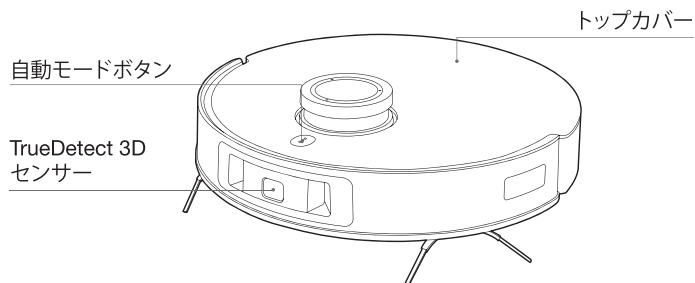


クリーニングブラシ

**注:** 図はあくまで参考であり、実際の製品の外観とは異なる場合があります。製品のデザインおよび仕様は予告なく変更されることがあります。

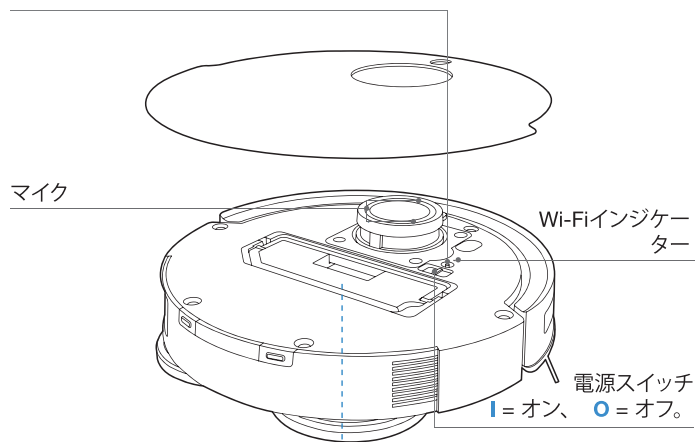
# 製品名称

## ロボット

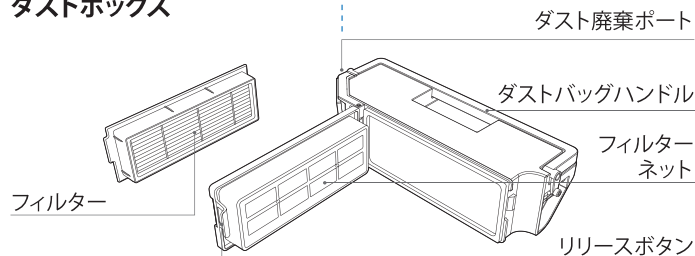


## リセットボタン

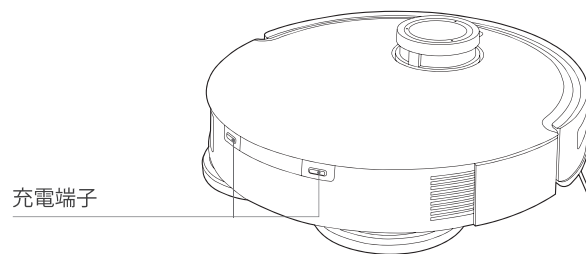
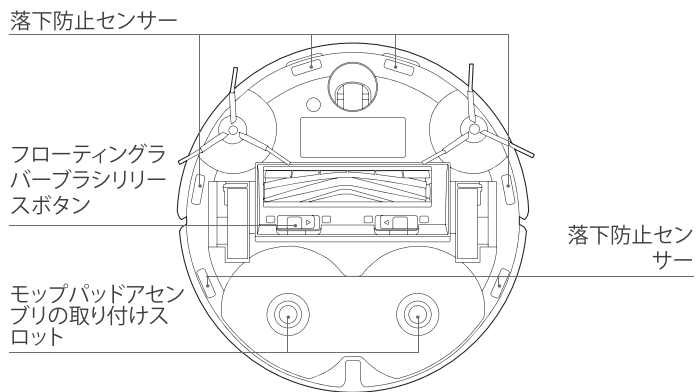
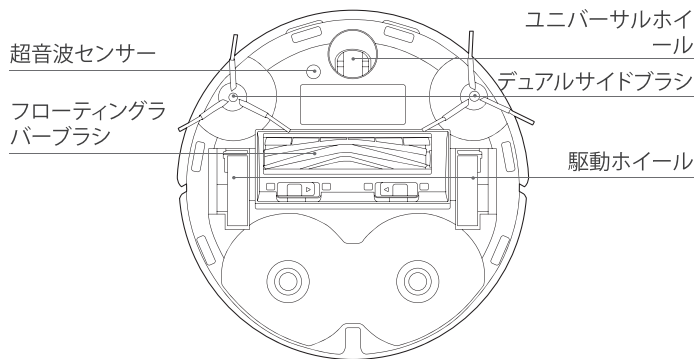
**デフォルト設定の復元:** リセットボタンを5秒間押します。音声ガイドが聞こえたら、始動時の音楽が再生され、ロボットはデフォルト設定に復元されます。



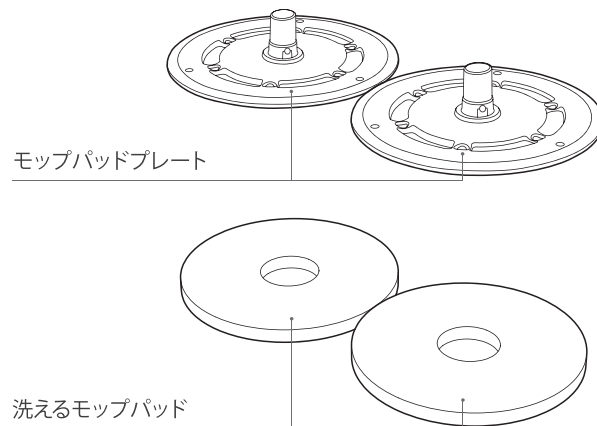
## ダストボックス



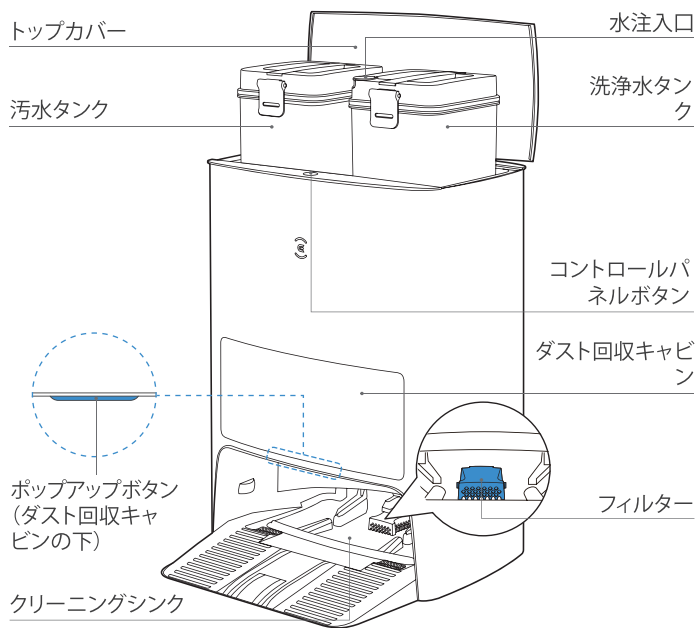
## 底面図



## モップパッドアセンブリ



## 全自動クリーニングステーション

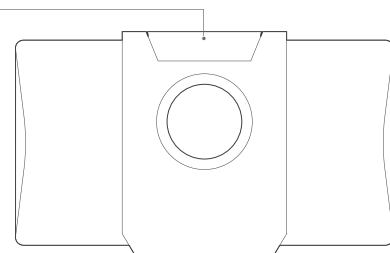


コントロールパネルボタン

- 短く押す: 清掃を開始 / 一時停止 / 再開
- 5秒間長押し: クリーニングシンクに水を追加または排水

## ダストバッグ

ダストバッグハンドル

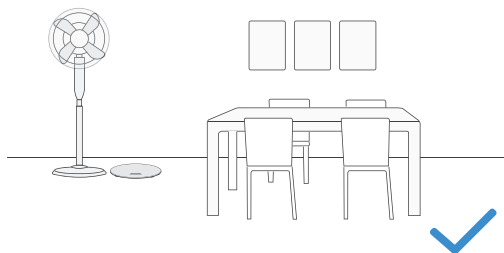


## センサー

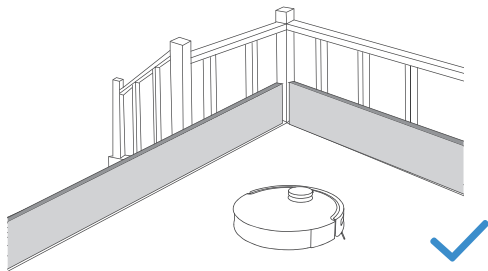
名前	機能の説明
TrueMapping 距離センサー	レーザー測距測定により反射の時間差によってDEEBOTと周囲の距離を測定することで、DEEBOTの移動中に周囲の物体に合わせてマッピングできます。検出距離10m
TrueDetect 3Dセンサー	TrueDetect 3D 構造光センサーは、ラインレーザーで物体をスキャンし、単眼カメラで画像を収集し、画像アルゴリズムを使用して物体の三次元座標を生成して、物体のサイズを識別します。検知距離は0.35m
マイク	人の声で振動版が振動することで、音声を記録でき、音声コントロールによって割り当てられた作業を完了させるようDEEBOTに命令できます。8mの有効ウェイクアップ距離
落下防止センサー	赤外線測距により、下部の赤外線センサーによってDEEBOTの底面と地面の間の距離を検出し、前方に階段がある場合や、識別した距離が事前に設定された距離を超えている場合、DEEBOTは前進しないため、落下することがありません。トリガー距離は60mm
カーペットセンサー	さまざまな表面に対する超音波エコー信号のエネルギーの違いにより床材を識別し、DEEBOTがクリーニング戦略を自動的に調整できるようにします。駆動周波数290kHz

## 清掃運転前の注意

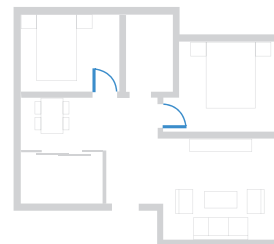
清掃する範囲を片付けて椅子などの家具を適切な場所に置いてください。



段差を検知できない場合、落下を防止するために段差の縁に囲いを置いてください。



初めてご利用いただく際には、DEEBOTが家の中を十分に探索できるように、すべての部屋のドアが開いていることを確認してください。



清掃効率を向上させるため、コード、衣類、スリッパなど、床の上の物を片付けてください。



縁に飾り房の付いた敷物の上で本製品を使用する場合は、敷物の端を下に折り込んでください。



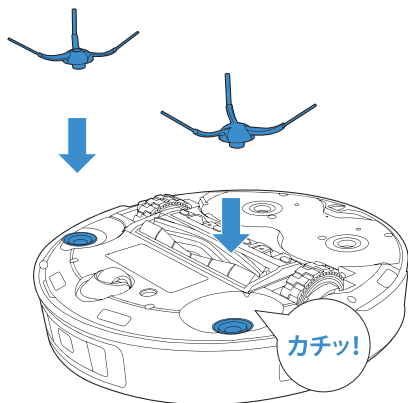
廊下などの狭い場所に立てて、TrueMapping距離センサーを塞がないようご注意ください。

## クイックスタート

DEEBOTを使用する前に、DEEBOTと全自動クリーニングステーションから保護フィルムと保護ストリップをすべて取り除いてください。

### デュアルサイドブラシの取り付け

デュアルサイドブラシの色が取り付けスロットの色と一致していることを確認します。

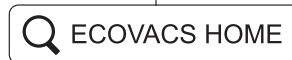


## ECOVACS HOME アプリ

利用可能なすべての機能を利用するには、ECOVACS HOMEアプリを使用してDEEBOTを制御することをお勧めします。

開始する前に、次のことを確認してください。

- ご使用の携帯電話がWi-Fiネットワークに接続されている。
- ルーターで2.4GHz帯または2.4/5 GHz帯のワイヤレス信号が有効になっている。
- DEEBOTのWi-Fiインジケータライトがゆっくり点滅している。



### Wi-Fiインジケータライト

	ゆっくり点滅	Wi-Fiに接続されていないか、Wi-Fi接続を待機中
	すばやく点滅	Wi-Fiに接続中
	点灯	Wi-Fiに接続済み



## Wi-Fi 接続

Wi-Fiをセットアップする前に、DEEBOT、携帯電話、およびWi-Fiネットワークが次の要件を満たしていることを確認してください。

### DEEBOTおよび携帯電話の要件

- DEEBOTが完全に充電され、DEEBOTの電源スイッチがオンになっている。
- Wi-Fiステータスライトがゆっくりと点滅している。
- 携帯電話のモバイルデータ通信をオフにする（セットアップ後はオンに戻すことができます）。

### Wi-Fiネットワークの要件

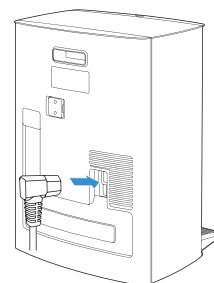
- 2.4GHzまたは2.4/5GHz混合ネットワークを使用している。
- ルーターが802.11b/g/nおよびIPv4プロトコルをサポートしている。
- VPN（仮想プライベートネットワーク）またはプロキシサーバーは使用しない。
- 隠しネットワークは使用しない。
- WPAおよびWPA2でTKIP、PSK、AES/CCMP暗号化を使用する。
- WEP EAP（エンタープライズ認証プロトコル）はサポートされていない。
- 北米ではWi-Fiチャンネル1-11、北米以外ではチャンネル1-13を使用する（地域の規制機関を参照）。
- ネットワーク中継機/リピーターを使用している場合、ネットワーク名（SSID）とパスワードはプライマリネットワークと同じにする。

Wi-Fi接続後、10分以内に信号入力がない場合、DEEBOTはネットワークスタンバイモードに入ります。

遠隔起動、音声操作、2D/3Dのマップ表示/制御設定、パーソナライズされたクリーニング（製品によって異なる）など、インテリジェント機能を実現するには、ECOVACSホームアプリをダウンロードして使用する必要があります。これは常に更新されます。弊社がお客様の基本情報および必要な情報を処理し、本製品をお客様が操作できるようにするには、お客様は事前に弊社のプライバシーポリシーおよびユーザー契約に同意する必要があります。お客様が弊社のプライバシーポリシーおよびユーザー契約に同意しない場合、前述のインテリジェント機能の一部は、ECOVACSホームアプリレーションでの実装ができなくなります。ただし、この場合でも、本製品の基本機能は手動操作でご利用いただけます。

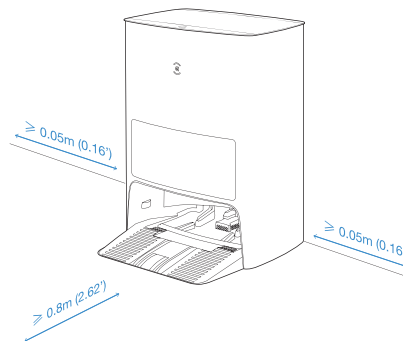
## DEEBOT の充電

### 1 全自動クリーニングステーションの組み立て



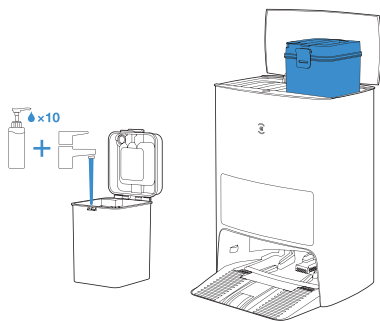
### 2 全自動クリーニングステーションの設置

ステーションの周囲には物を置かないようにしてください。



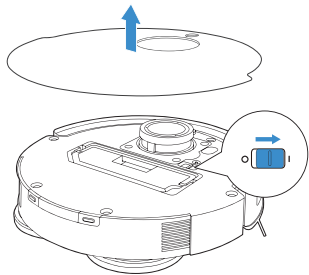
\*鏡や光を反射する幅木などの反射物がステーションの近くにある場合は、その反射物の下から14cmを覆う必要があります。ステーションを直射日光が当たる場所に置かないでください。ロボットの機能をフル活用するには、ステーションを硬い床に置くことをお勧めします。

### 3 洗浄水タンクへの水の追加



**注:** ECOVACS DEEBOT 洗浄液 (別売り) の使用をお勧めします。他の洗浄液を使用すると、DEEBOT が滑る、水タンクが詰まるなどの問題が発生する可能性があります。

### 4 電源オン

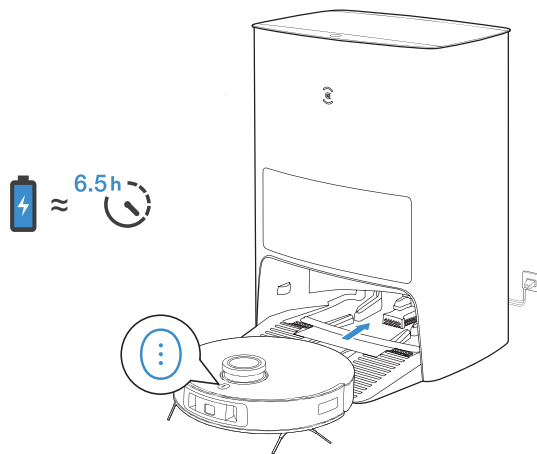


**注:** I=オン、O=オフ

電源がオフのときはDEEBOTを充電できません。

### 5 DEEBOTを充電する

清掃は、ステーションから開始させるようにしてください。清掃中はステーションを動かさないでください。



# DEEBOT の操作

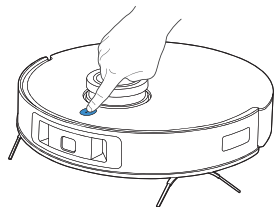
マップを初めて作成する場合は、DEEBOTの後ろを歩いて、障害物をなくすようにしてください。

たとえば、DEEBOTが家具の下で引っかかったときなどです。次の解決法を参照してください。

1.高さの低い家具の場合は、可能であれば持ち上げます。2.家具の下部に覆いをかけます。3.アプリを使用してバーチャルボーダーを設定します。

## 1 開始

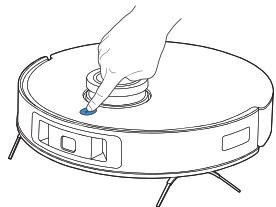
DEEBOTの ⓘ または全自動クリーニングステーションの ⓘ をタップして開始します。



**注:**初めて清掃する場合は、必ずDEEBOTを完全に充電してください。

## 2 一時停止／ウェイクアップ

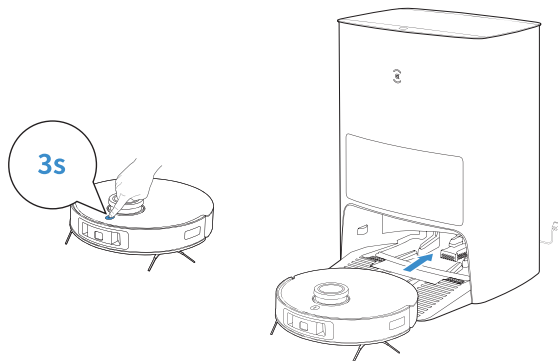
一時停止するには、DEEBOTの ⓘ または全自動クリーニングステーションの ⓘ をタップします。



**注:**ロボットが数分間一時停止すると、インジケータライトが消灯します。ロボットを起動するには、DEEBOTの自動モードボタンを押します。

## 3 ステーションに戻る

ⓘ を3秒間タップし続けると、DEEBOTがドッキング全自動クリーニングステーションに戻ります。

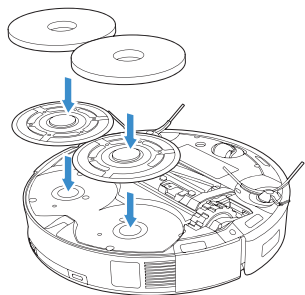


**注:**DEEBOTが動作していないときは、電源スイッチをONにしたまま充電することをお勧めします。

## モップ掛け

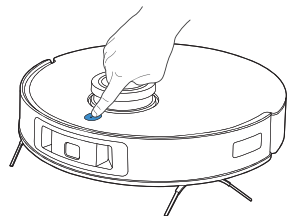
### 1 モップパッドとモップパッドプレートを取り付けます。

モップパッドプレートを正しく取り付けると、「カチッ」という音がします。



### 2 モップ

DEEBOTの ⓘ または全自動クリーニングステーションの ⓘ をタップするとモップ掛けが始まります。

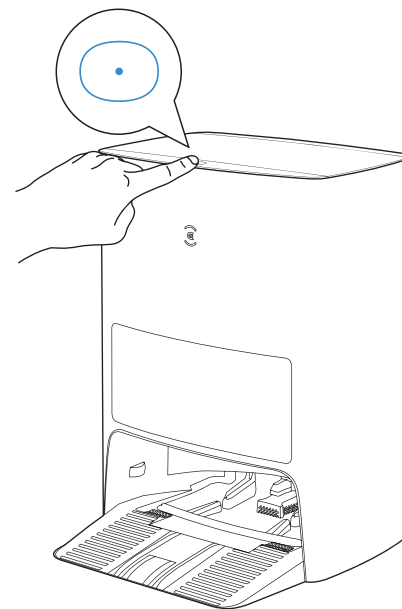


#### 注:

1. 洗えるモップパッドは頻繁に取り外さないようにしてください。
  2. 布などの物でモップパッドプレートを引っかくことは避けてください。
  3. ECOVACS HOMEアプリがモップの交換を促すメッセージを表示したら、適時交換してください。
- その他のアクセサリについては、ECOVACS HOMEアプリまたは次のサイトをご覧ください。<https://www.ecovacs.com/global>。

## 全自動クリーニングステーション

ⓘ ボタンを押すと、掃除を開始/一時停止/再開します。



## 定期的なメンテナンス

DEEBOTの性能を最適に保つため、次の頻度でメンテナンス作業や部品の交換を実行してください。

ロボット部品	メンテナンス頻度	交換頻度
洗えるモップパッド	/	1~2ヵ月ごと
ダストバッグ	/	音声プロンプトが流れたら交換します
デュアルサイドブラシ	2週間に1回	3~6ヵ月ごと
フローティングラバーブラシ	週に1回	6~12ヵ月ごと
フィルター(ダストボックス)	週に1回	3~6ヵ月ごと
TrueDetect 3Dセンサー TrueMapping距離センサー ユニバーサルホイール 落下防止センサー バンパー 充電端子 全自動クリーニングステーションのピン	週に1回	/
クリーニングシンク	2週間に1回	/
洗淨水タンク	3ヵ月に1回	/
汚水タンク	モップの使用後毎回	/
ダスト回収キャビン	1ヵ月に1回	/
全自動クリーニングステーション	1ヵ月に1回	/
フィルター(クリーニングシンク)	1ヵ月に1回	/

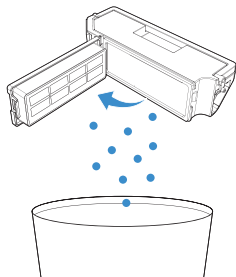
DEEBOT本体の掃除やメンテナンス作業をする際は、電源をオフにして全自動クリーニングステーションから外してください。

付属のメンテナンスツールを使用すると、簡単にお手入れすることができます。メンテナンスツールには鋭利な刃がついているため、慎重に扱ってください。

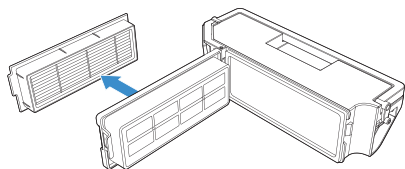
**注:** ECOVACSでは、さまざまな交換用部品および付属品を製造しています。交換部品の詳細については、サポートセンターまでお問い合わせください。

## ダストボックスとフィルターのメンテナンス

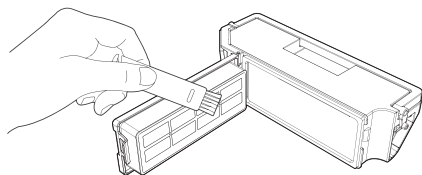
1



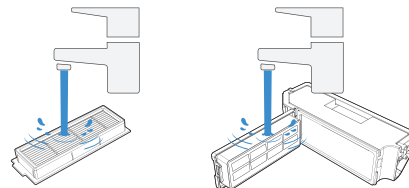
2



3



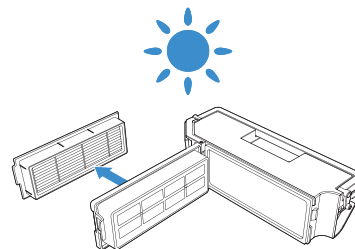
4



注:

- 1.上の図のように、フィルターを水で洗ってください。
- 2.フィルターを指やブラシで清掃しないでください。

5

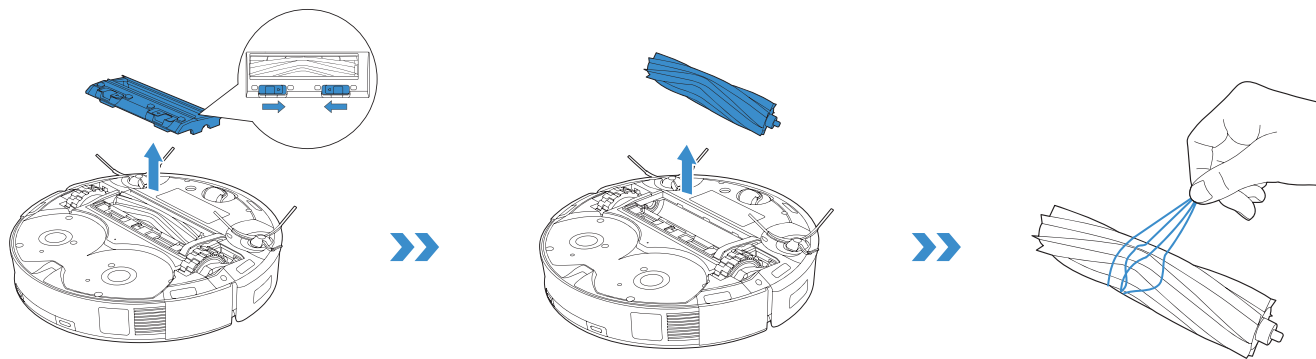


注: 使用する前にフィルターを完全に乾かしてください。  
その他のアクセサリについては、ECOVACS HOME アプリ、または以下をご覧ください。

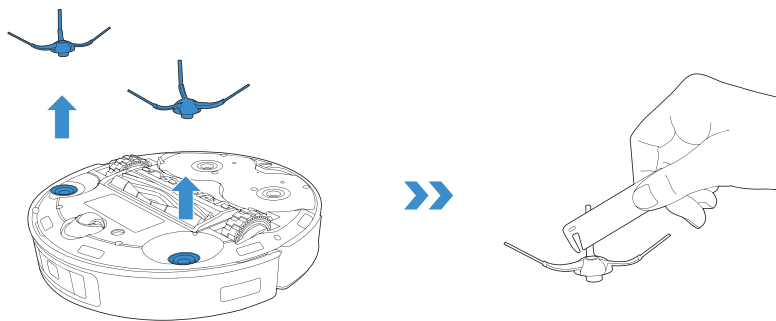
<https://www.ecovacs.com/global>

# フローティングラバーブラシおよびデュアルサイドブラシのメンテナンス

## フローティングラバーブラシ

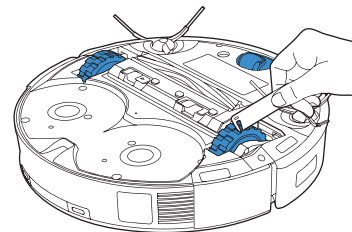
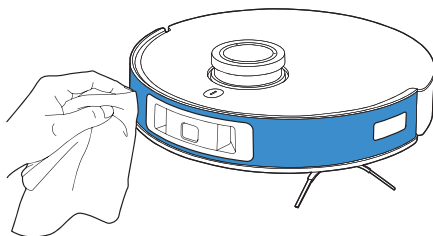
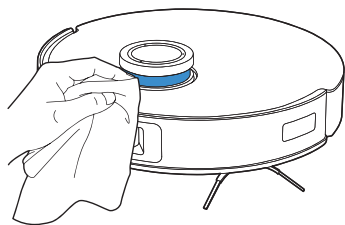
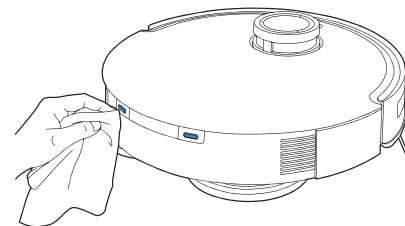
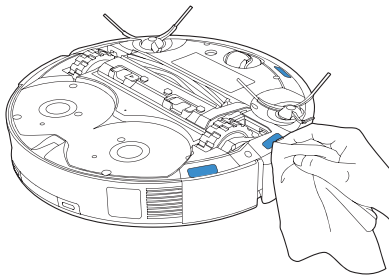
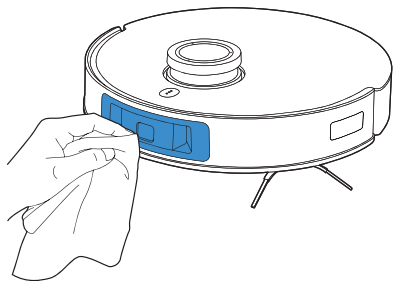


## デュアルサイドブラシ



## その他の部品のメンテナンス

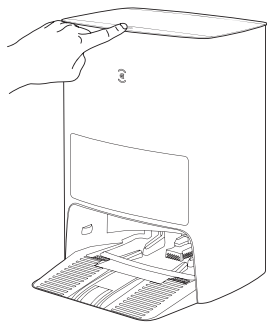
注\* 清潔な乾いた布で部品を拭いてください。クリーニングスプレーや洗剤は使用しないでください。





## 全自動クリーニングステーションのメンテナンス

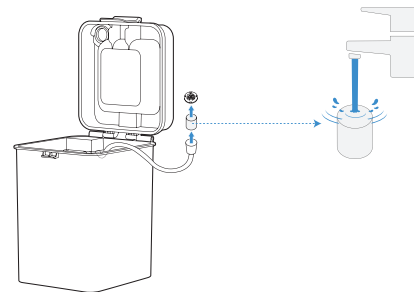
- 1 ボタンを5秒間押し続けると、クリーニングシンクに水が追加されます



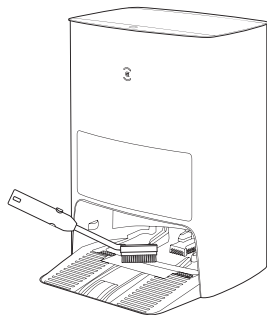
- 3 ボタンを5秒間押し続けると、クリーニングシンクから水を排出します



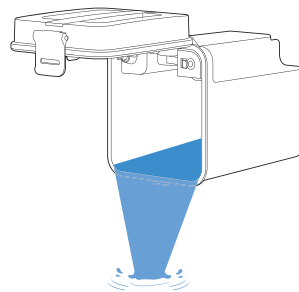
- 5 洗浄水タンクフィルターを清掃します



- 2 クリーニングシンクを掃除します



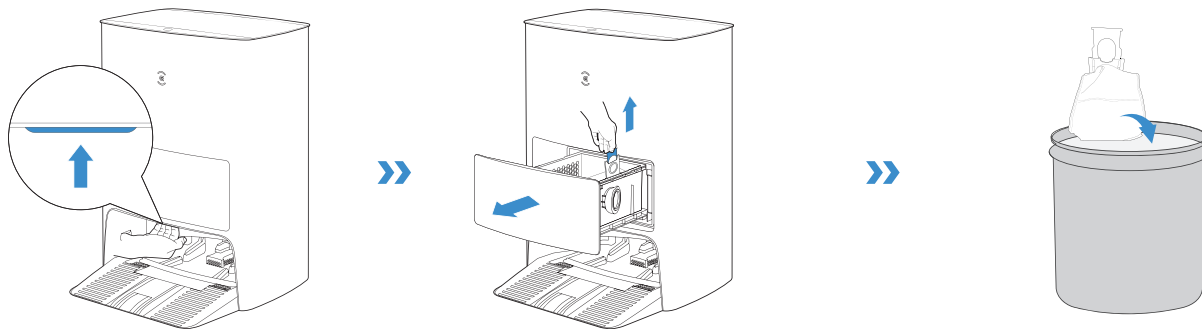
- 4 汚水タンクを空にします



## ダストバッグのメンテナンス

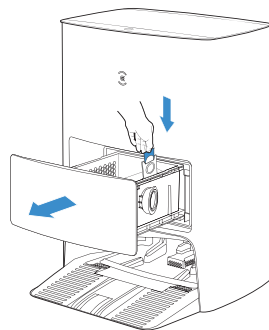
DEEBOTの清掃とメンテナンス作業を実行する際は、電源をオフにして全自動クリーニングステーションから外してください。

### ① ダストバッグを廃棄します

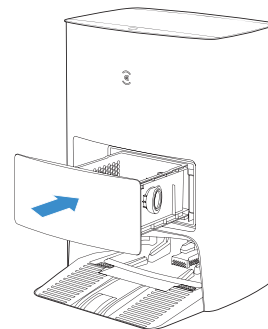


\* ハンドルを握ってダストバッグを引き出すことにより、ほこりの漏れを効果的に防止できます。

### ② ダスト回収キャビンを乾いた布で清掃し、新しいダストバッグを装着します

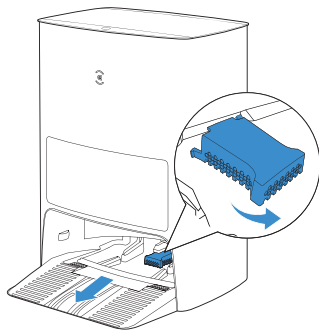


### ③ ダスト回収キャビンを閉じます

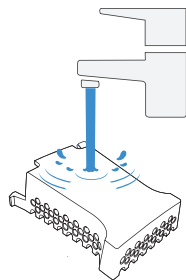


## フィルターのメンテナンス

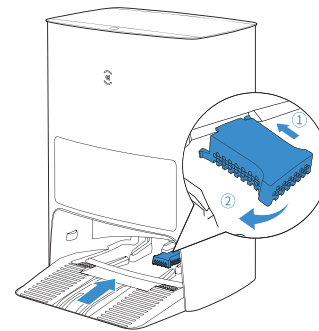
① フィルターを取り出します



② フィルターを洗浄します

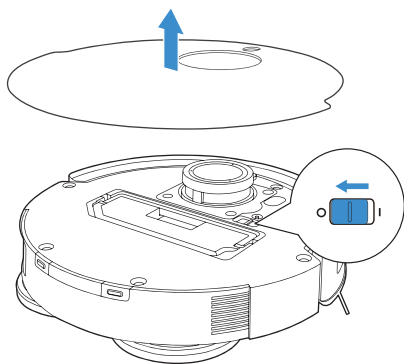


③ フィルターを取り付けます



## 保管

DEEBOTをしばらく使用しない場合は、保管する前にDEEBOTを完全に充電し、電源をオフにしてください。バッテリーの消耗を防ぐため、1.5ヵ月ごとにDEEBOTを充電してください。



**注:** DEEBOTが吸引やブラシの動作を行っていないときは、電源を入れたまま充電することをお勧めします。

## トラブルシューティング

番号	異常内容	考えられる原因	解決方法
1	DEEBOTをECOVACS HOMEアプリに接続できない。	Wi-Fiのユーザー名またはパスワードが正しくない。	Wi-Fiの正しいユーザー名とパスワードを入力してください。
		DEEBOTがご自宅のWi-Fi信号の範囲内にはない。	DEEBOTがご自宅のWi-Fi信号の範囲内にあることを確認してください。
		DEEBOTが設定状態ではない。	DEEBOTが電源に接続され、電源が入っていることを確認します。カバーを開き、リセットボタンを押します。DEEBOTが設定状態に切り替わると、音声プロンプトが流れます。
		正しくないアプリがインストールされている。	ECOVACS HOMEアプリをダウンロードしてインストールしてください。
		2.4GHzまたは2.4/5GHz混合ネットワークを使用していない。	DEEBOTは5Gネットワークをサポートしていません。2.4GHzまたは2.4/5GHz混合ネットワークを使用してください。
2	マップが失われた。	清掃時にDEEBOTを移動すると、マップが失われることがあります。	DEEBOTをステーションの前面に移動して、マップを取得します。 復元されたマップをマップ管理で探し、Use This Map(このマップを使用する)をタップして取得します。 上記の方法でこの問題が解決できない場合は、マッピングを再度開始してください。
3	アプリで家のマップを作成できない。	DEEBOTがステーションから掃除を開始していない。	DEEBOTがステーションから掃除を開始する必要があります。
		清掃時にDEEBOTを動かしたため、マップが失われた可能性がある。	清掃中は、DEEBOTをできるだけ動かさないでください。
		自動清掃が完了していない。	清掃後、DEEBOTが自動的にステーションに戻ることを確認します。
4	デュアルサイドブラシが使用中に本来の場所から外れる。	デュアルサイドブラシが正しく取り付けられていない。	デュアルサイドブラシを取り付ける際に、カチッと音がしたことを確認してください。

番号	異常内容	考えられる原因	解決方法
5	信号が検知されない。ステーションに戻ることができない。	ステーションが適切に配置されていない。	「DEEBOTの充電」セクションの手順に従って、ステーションを適切に設置してください。
		ステーションの電源が切れているか、手動で移動された。	ステーションが電源に接続されているかどうかを確認します。手を使ってステーションを移動させないでください。
		DEEBOTがステーションから掃除を開始していない。	清掃は、ステーションから開始させるようにしてください。
		充電ルートがブロックされている。例えば、ステーションがある部屋のドアが閉じている場合など。	充電ルートに遮蔽物がないようにします。
6	清掃が終了する前にステーションへ戻ってしまう。	部屋が広い場合、DEEBOTが充電のために戻る必要がある。	連続クリーニングを有効にしてください。詳細については、アプリのガイドに従ってください。
		特定の領域が家具や囲いでブロックされていて、DEEBOTが到達できない。	家具や小さな物を適切な場所に置いて、清掃する範囲を片付けてください。
7	DEEBOTを充電できない。	DEEBOTの電源スイッチがオンになっていない。	DEEBOTの電源スイッチをオンにしてください。
		DEEBOTの充電端子がステーションピンに接続されていない。	ロボットの充電端子がステーションピンに接続されており、AUTOモードボタンが点滅していることを確認します。DEEBOTの充電端子とステーションが汚れていないかどうかを確認してください。「メンテナンス」セクションの記載に従って部品を清掃します。
		ステーションが電源に接続されていない。	ステーションが電源に接続されていることを確認してください。
		DEEBOTを長時間使用しないと、バッテリーが過充電になる。	定期的にDEEBOTを使用することをお勧めします。長時間使用していないためにバッテリーを充電できない場合は、カスタマーケアまでお問い合わせください。
8	清掃時に大きな音がする。	デュアルサイドブラシとフローティングラバーブラシがもつれている。ダストボックスとフィルターが詰まっている。	デュアルサイドブラシ、フローティングラバーブラシ、ダストボックス、フィルターなどは定期的に清掃することをお勧めします。
		DEEBOTが最大モードになっている。	標準モードに切り替えます。

番号	異常内容	考えられる原因	解決方法
9	DEEBOTが障害物に引っかかりしばらくして動きが止まる。	床の上の物（電源コード、カーテン、敷物の飾り房など）が絡まっている可能性があります。	本製品は絡まった物が外れるように動作します。絡まったものが外れない場合は、手で障害物を取り除き、再起動してください。
		床との隙間が本体と同じくらいの高さの家具の下でDEEBOTが動けなくなっている可能性がある。	困いを置くか、ECOVACS HOMEアプリでバーチャルボーダーを設定してください。
10	清掃時に、ルートの混乱、ルートの逸脱、清掃の繰り返し、狭い領域の清掃漏れなど、DEEBOTの問題が発生する (一時的に清掃されていない広い領域がある場合、DEEBOTはその清掃漏れの領域に後から個別に対応します。)	針金やスリッパなど、床に落ちている物が、DEEBOTの正常な動作に影響を与えている。	清掃の前に、床に落ちている針金、スリッパ、その他の物を片づけてください。床に落ちている物は極力減らします。清掃漏れの領域がある場合、DEEBOTは自律的にその領域に対応します。DEEBOTの動きを阻害（DEEBOTの移動やルートをブロックするなど）しないでください。
		DEEBOTが段差、敷居、ドアバーに乗り上げた場合、駆動ホイールが床面でスリップすることがあり、このため、家全体の環境の判断に影響することがある。	この領域のドアを閉じて、個別に清掃することをお勧めします。清掃後、DEEBOTは開始場所に戻ります。安心してDEEBOTをご利用ください。
		ワックスを塗って磨き上げた床や滑らかなタイルを清掃する場合、結果的に駆動ホイールと床の間の摩擦が低減する。	ワックスが乾くまで待ってから清掃してください。
		家の中の状況が変わるため、一部の領域を清掃できない。	DEEBOTが入って清掃できるように、家の中を片付けてください。
		TrueMapping距離センサーが汚れているか、異物で遮られている。	きれいな柔らかい布でTrueMapping距離センサーを拭くか、異物を取り除いてください。

番号	異常内容	考えられる原因	解決方法
11	ステーションに戻った後、DEEBOTがダストボックスを空にしない。	ダスト回収キャビンが閉じていない。	ダスト回収キャビンを閉じてください。
		ステーションにダストバッグが取り付けられていない。	ダストバッグを取り付け、ダスト回収キャビンを閉じてください。
		DEEBOTを手動でステーションに戻すと、自動廃棄機能が開始されない場合がある。	DEEBOTがステーションに戻るまで待つことをお勧めします。手動で移動しないでください。
		サイレントモードでは、DEEBOTはステーションに戻った後もごみを廃棄しません。	ECOVACS HOMEアプリでサイレントモードをキャンセルするか、手動でごみを空にします。
		全自動クリーニングステーションが、ダストバッグが一杯になっていると通知する。	ダストバッグを「メンテナンス」セクションの手順で交換して、ダスト回収キャビンを閉じます。ECOVACS HOMEアプリからの通知が表示されたときにダストバッグがいっぱいではない場合は、再度取り付けることができます。
		上記の原因に当てはまらない場合は、ステーションの部品に異常がある可能性があります。	カスタマーケアにお問い合わせください。
12	ダストボックスを空にできない。	全自動クリーニングステーションが、ダストバッグが一杯になっていると通知する。	ダストバッグを「メンテナンス」セクションの手順で交換してダスト回収キャビンを閉じます。アプリからの通知が表示されたときにダストバッグがいっぱいではない場合は、再度取り付けることができます。
		ダストボックスの吹き出し口が異物によって塞がれている。	ダストボックスを取り外して、吹き出し口の異物を取り除きます。



番号	異常内容	考えられる原因	解決方法
13	ダスト回収キャビンの内側が汚れている。	微粒子がダストバッグを通過してダスト回収キャビンの内側に入っている。	ダストコレクションキャビンの内側を清掃してください。
		ダストバッグが壊れている。	ダストバッグを点検してください。交換してください。
14	清掃時にほこり、ちりが漏れる。	ダストボックスの吹き出し口が異物によって塞がれている。	ダストボックスを取り外して、吹き出し口の異物を取り除きます。
15	モップパッドプレートが回転しない。	モップパッドプレートが異物によって塞がれている。	異物を取り除きます。
16	DEEBOTがステーションの指示に応答しない。	DEEBOTがステーションから離れすぎている。	利用可能な距離を超えた場合は、ECOVACS HOMEアプリを使用してDEEBOTを操作することもできます。
		DEEBOTとステーションがペアリングされていない。	ステーションのプラグを抜き、10秒間待ってからプラグを差し込みます。ロボットの電源をオフにしてから、再度オンにします。ロボットを手動でステーションまで押し、充電ピンが正しく接続されていることを確認します。その後、DEEBOTが充電を開始し、音声プロンプトによるペアリングが正常に完了します。
17	チャイルドロックを有効にできない。	ステーションとDEEBOT間の通信が切断されている(例:距離が長い、または間仕切りが多いため)	DEEBOTをステーションの近くに戻して適切に通信できるようにしてから、チャイルドロックを有効にします。
18	駆動ホイールが停止する。	異物により駆動ホイールが停止する。	駆動ホイールを回したり押ししたりして、異物が巻き付いていないか、引っかかっているかを確認してください。異物があった場合は、すぐに取り除いてください。この問題が解決しない場合は、サポートのためにカスタマーケアにお問い合わせください。

番号	異常内容	考えられる原因	解決方法
19	クリーニングシンクの水を排出できず、クリーニングシンクが一杯であることが音声で通知される。	汚水タンクが正しく取り付けられていない。	汚水タンクを押し下げて、正しく取り付けられていることを確認します。
		汚水タンクのシーリングプラグが正しく取り付けられていない。	シーリングプラグが正しく取り付けられていることを確認してください。
		ステーションが通常どおりに水を排水できない。	<p>⦿を5秒以上長押しします。クリーニングタンクに水が自動的に満たされたら、全自動クリーニングステーションを5秒間押し続けます。モップパッドの洗浄処理中に問題が発生した場合は、アプリまたは音声でタスクを終了します。⦿を2回長押し(5秒間)して、ステーションが適切に排水することを確認します。正常に排水されたら、クリーニングシンクの水オーバーフローセンサーを拭いて乾かします。ステーションが排水できない場合は、汚水タンクとステーションの間に異物がないか確認して、清掃します。</p>
		クリーニングシンクの吸引ポートが異物で塞がれている。	クリーニングシンクの吸引ポートに異物がないようにします。
		上記の解決策を実行しても、音声プロンプトが通知される。	ステーションのプラグを抜き、再度接続します。この問題が解決しない場合は、サポートのためにカスタマーケアにお問い合わせください。
20	モップパッドが自動的に持ち上げられない。	モップパッドプレートがからまっているか、異物によって塞がれている。	異物を取り除いてください。
		モップパッドプレートが落下する。	モップパッドプレートを再度取り付けます。モップパッドプレートを正しく取り付けると、「カチッ」という音がします。

## 技術仕様

型番	<b>DLX23</b>
定格入力	20V === 2A
ドッキングステーション(全自動クリーニングステーション)	<b>CH2232</b>
定格入力	100V ~ 50-60Hz 6.1A (ゴミ収集時) 1.0A (モップ乾燥時) 9.6A (温水洗浄用モップ) 0.9A (充電時)
定格出力	20V === 2A
周波数帯域	2412~2484 MHz

**注:** 本製品は品質向上のため技術仕様やデザイン仕様の変更を行う場合があります。  
その他の付属品をお探しの際は、<https://www.ecovacs.com/global>をご覧ください。

## Important Safety Instructions

### **IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS**

When using an electrical Appliance, basic precautions should always be followed, including the following:

### **READ ALL INSTRUCTIONS BEFORE USING THIS APPLIANCE**

### **SAVE THESE INSTRUCTIONS**

1. This Appliance is not intended for use by persons (including children) with reduced physical, sensory or mental capabilities, or lack of experience and knowledge, unless they have been given supervision or instruction concerning use of the Appliance by a person responsible for their safety.
2. Children should be supervised to ensure that they do not play with the Appliance.
3. Clear the area to be cleaned. Remove power cords and small objects from the floor that could entangle the Appliance. Tuck rug fringe under the rug base, and lift items such as curtains and tablecloths off the floor.
4. If there is a drop off in the cleaning area due to a step or stairs, you should operate the Appliance to ensure that it can detect the step without falling over the edge. It may become necessary to place a physical barrier at the edge to keep the unit from falling. Make sure the physical barrier is not a trip hazard.
5. Only use as described in this manual. Only use attachments recommended or sold by the manufacturer.
6. For INDOOR household use ONLY. Do not use the Appliance in outdoor, commercial or industrial environments.
7. Do not use without dust bin and/or filters in place.
8. Do not operate the Appliance in an area where there are lit candles or fragile objects.
9. Keep hair, loose clothing, fingers, and all parts of body away from any openings and moving parts.
10. Do not operate the Appliance in a room where an infant or child is sleeping.
11. Do not use Appliance on wet surfaces or surfaces with standing water.
12. Do not allow the Appliance to pick up large objects like stones, large pieces of paper or any item that may clog the Appliance.
13. Do not use Appliance to pick up flammable or combustible materials such as gasoline,

- printer or copier toner, or use in areas where they may be present.
14. Do not use Appliance to pick up anything that is burning or smoking, such as cigarettes, matches, hot ashes, or anything that could cause a fire.
  15. Do not put objects into the suction intake. Do not use if the suction intake is blocked. Keep the intake clear of dust, lint, hair, or anything that may reduce air flow.
  16. If the power cord is damaged, it must be replaced by the manufacturer or its service agent in order to avoid a hazard.
  17. Turn OFF the power switch before cleaning or maintaining the Appliance.
  18. The lithium battery type suitable for CH2232 is Max. 8 cells, max. nominal voltage DC 14.4V, rated capacity 4,800mAh. The battery must be removed and discarded according to local laws and regulations before disposal of the Appliance.
  19. Please dispose of used batteries according to local laws and regulations.
  20. Do not incinerate the Appliance even if it is severely damaged. The batteries can explode in a fire.
  21. The Appliance must be used in accordance with the directions in this Instruction Manual. Ecovacs Home Service Robotics cannot be held liable or responsible for any damages or injuries caused by improper use.
  22. The robot contains batteries that are only replaceable by skilled persons. To replace the robot's battery, please contact Customer Service.
  23. Please make sure your power supply source voltage matches the power voltage marked on the OMNI Station.
  24. Use only the original rechargeable battery and OMNI Station provided with the Appliance from the manufacturer. Non-rechargeable batteries are prohibited.
  25. Take care not to damage the power cord. Do not pull on or carry the Appliance or OMNI Station by the power cord, use the power cord as a handle, close a door on the power cord, or pull power cord around sharp edges or corners. Do not run Appliance over the power cord. Keep power cord away from hot surfaces.
  26. Do not use the OMNI Station if it is damaged. The power supply is not to be repaired and not to be used any longer if it is damaged or defective.

27. Do not use with a damaged power cord or receptacle. Do not use the Appliance or OMNI Station if it is not working properly, has been dropped, damaged, left outdoors, or come in contact with water. It must be repaired by the manufacturer or its service agent in order to avoid a hazard.
28. The plug must be removed from the receptacle before cleaning or maintaining the OMNI Station.
29. Remove the Appliance from the OMNI Station, and turn OFF the power switch to the Appliance before removing the battery for disposal of the Appliance.
30. When not using the OMNI Station for a long period of time, please unplug it.
31. If the robot will not be used for a long time, power OFF the robot for storage and unplug the OMNI Station.
32. WARNING-Add clean water into the clean tank only.
33. **WARNING:** For the purposes of recharging the battery, only use the detachable supply unit CH2232 provided with the Appliance.









To satisfy RF exposure requirements, a separation distance of 20 cm or more should be maintained between this device and persons during device operation.

To ensure compliance, operations at closer than this distance is not recommended. The antenna used for this transmitter must not be co-located in conjunction with any other antenna or transmitter.

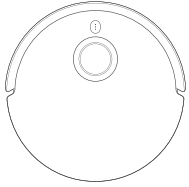
### **Device Update**

Typically, some devices are updated bi-monthly, but not always so specific.

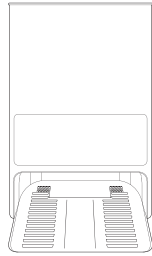
Some devices, especially those that went on sale more than three years ago, will only be updated if a critical vulnerability is found and fixed.

	Short-circuit-proof safety isolating transformer
	Switch mode power supply
	For indoor use only
	Direct current
	Alternating current
	Before charging, read the instructions.
	Polarity of the charging port
	Time-lag miniature fuse-link

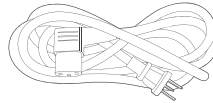
# Package Contents



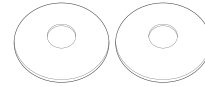
Robot



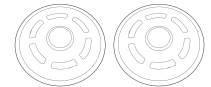
OMNI Station



Power Cord



Washable Mopping Pads



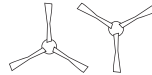
Mopping Pad Plates



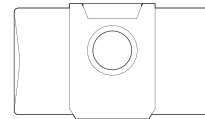
Instruction Manual



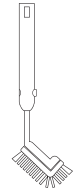
Multi-Function Cleaning Tool



Dual Side Brushes



Dust Bag



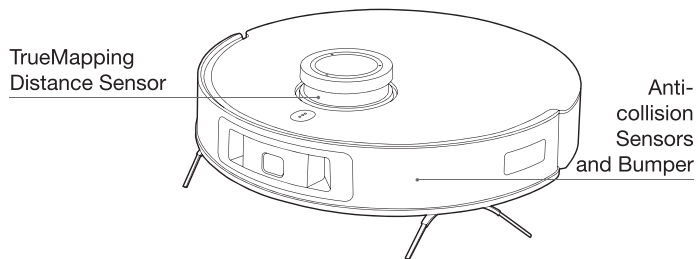
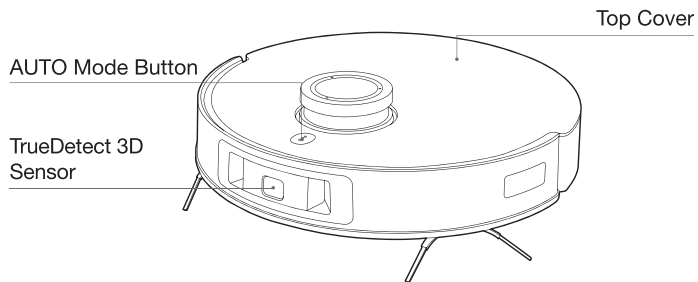
Cleaning Brush

**Note:** Figures and illustrations are for reference only and may differ from actual product appearance. Product design and specifications are subject to changes without notice.



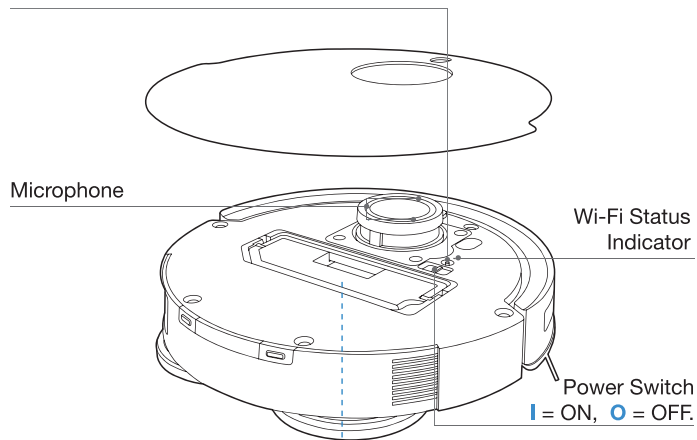
# Product Diagram

## Robot

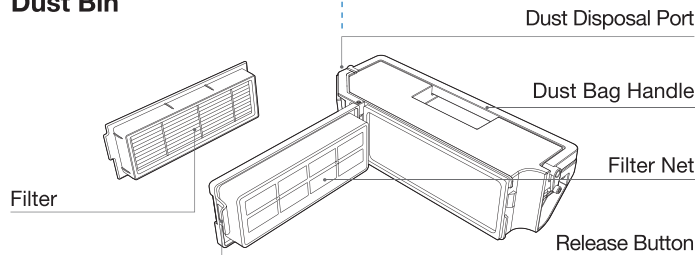


## RESET Button

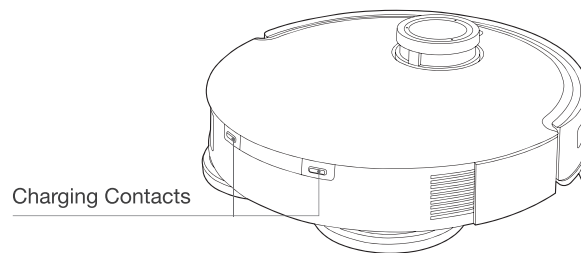
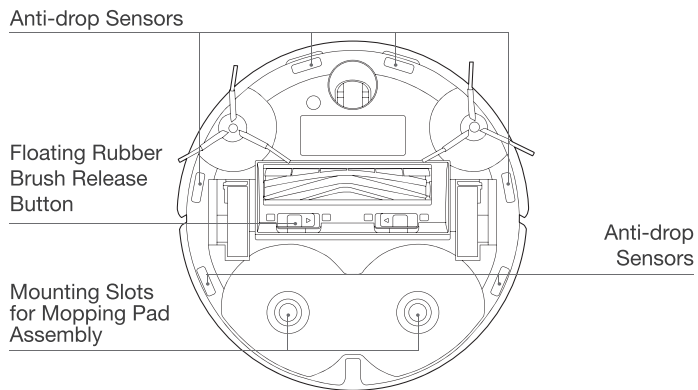
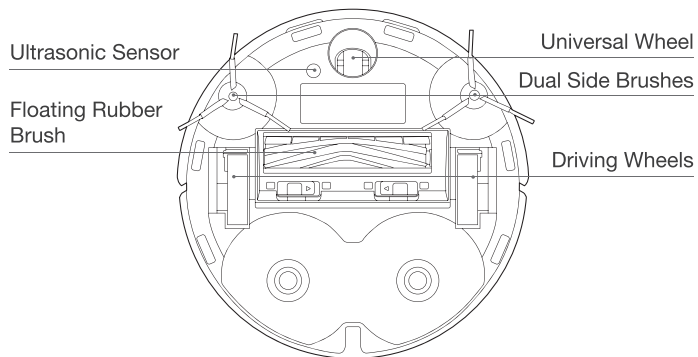
**Restore to default settings:** Press and hold RESET button for 5 seconds. After you hear the voice prompt, the startup music will be played and the robot will be restored to default settings.



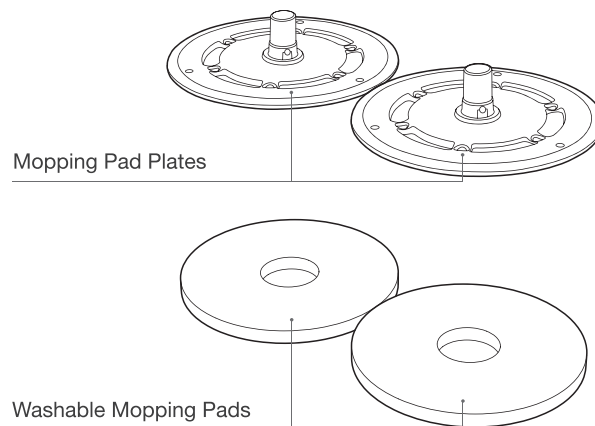
## Dust Bin



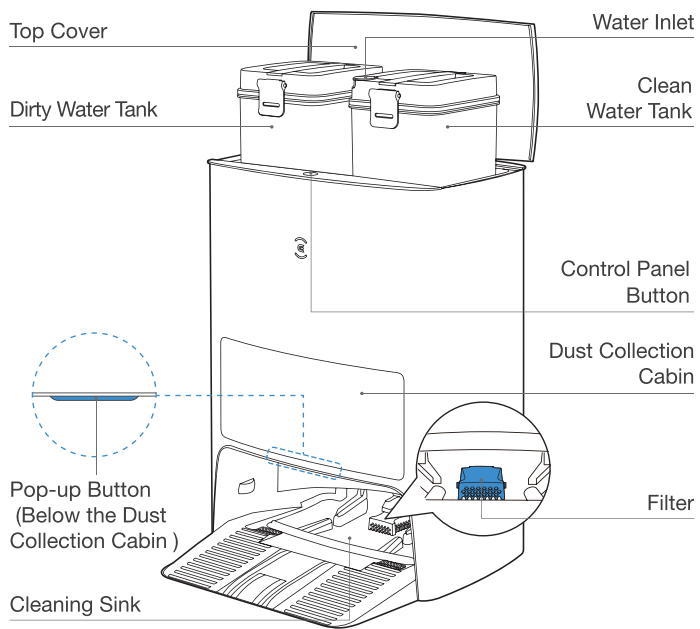
## Bottom View



## Mopping Pad Assembly



## OMNI Station



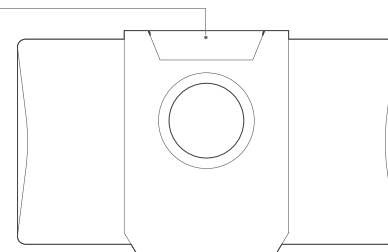
### Control Panel Button



Short press: to start/pause/resume cleaning  
Press for 5 seconds: to add water to or drain the water out of  
Cleaning Sink

## Dust Bag

Dust Bag Handle

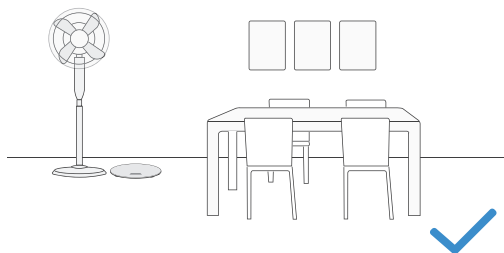


## Sensors

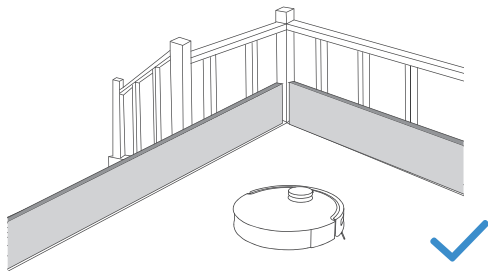
Name	Functional Description
TrueMapping Distance Sensor	With Laser Ranging-measuring the distance between DEEBOT and surroundings through the time difference of reflection, it can map according to the objects around while DEEBOT is moving. Detection of 10m
TrueDetect 3D Sensor	The TrueDetect 3D structured light sensor scans the object with a line laser and collect images with a monocular camera, and generates the three-dimensional coordinates of the object through image algorithms to identify the size of the object. The detection distance is 0.35m
Microphone	Vibrating the diaphragm through air by human voice, it can realize Voice Recording and ask DEEBOT to complete the assigned work by Voice Control. Effective wake of 8m
Anti-drop Sensor	With Infrared Ranging-detecting the distance between the bottom of DEEBOT and ground by Infrared Sensor at the bottom, DEEBOT will not move forward when there are stairs in front or the identified distance exceeds the preset one, realizing the Anti-drop. The trigger distance is 60mm
Carpet Detection Sensor	The difference in energy of the ultrasonic echo signal on different surfaces is used to identify the floor material and help DEEBOT to adjust the cleaning strategy automatically. Drive frequency 290kHz

## Notes Before Cleaning

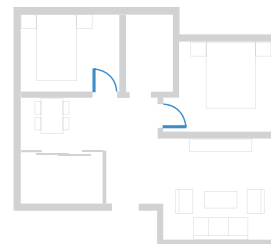
Tidy up the area to be cleaned by putting furniture, such as chairs, in their proper place.



It may be necessary to place a physical barrier at the edge of a drop to stop the unit from falling over the edge.



During the first use, make sure each room door is open to help DEEBOT fully explore your house.



Put away objects including cables, cloths and slippers, etc. on the floor to improve the cleaning efficiency.



Before using the product on a rug with tasseled edges, please fold the rug edges under.



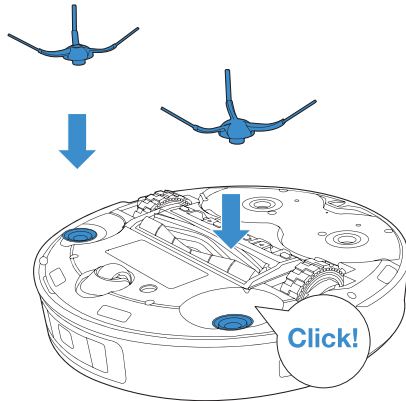
Please do not stand in narrow spaces, such as hallways, and make sure not to block the TrueMapping Distance Sensor.

## Quick Start

**Before using DEEBOT, please remove all protective films or protective strips on DEEBOT and OMNI Station.**

### Install the Dual Side Brushes

Make sure the colors of Dual Side Brushes are consistent with those of mounting slots.



## ECOVACS HOME App


To enjoy all available features, it is recommended to control your DEEBOT via the ECOVACS HOME app.

### Before you start, make sure that:

- Your mobile phone is connected to a Wi-Fi network.
- The 2.4GHz or 2.4/5 GHz band wireless signal is enabled on your router.
- The Wi-Fi indicator light on DEEBOT is slowly flashing.



### Wi-Fi Indicator Light

	Slowly flashing	Disconnected to Wi-Fi or waiting for Wi-Fi connection
	Rapidly flashing	Connecting to Wi-Fi
	Solid	Connected to Wi-Fi

## Wi-Fi Connection

Before Wi-Fi setup, make sure DEEBOT, mobile phone, and Wi-Fi network meet the following requirements.

### DEEBOT and Mobile Phone Requirements

- DEEBOT is fully charged and the power switch of DEEBOT is turned on.
- Wi-Fi status light slowly flashes.
- Turn off mobile phone's cellular data (you can turn it back on after setup).

### Wi-Fi Network Requirements

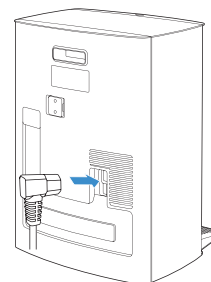
- You are using a 2.4GHz or 2.4/5 GHz mixed network.
- Your router supports 802.11b/g/n and IPv4 protocol.
- Do not use a VPN (Virtual Private Network) or Proxy Server.
- Do not use a hidden network.
- WPA and WPA2 using TKIP, PSK, AES/CCMP encryption.
- WEP EAP (Enterprise Authentication Protocol) is not supported.
- Use Wi-Fi channels 1-11 in North America and channels 1-13 outside North America (refer to local regulatory agency).
- If you are using a network extender/repeater, the network name (SSID) and password are the same as your primary network.

After Wi-Fi connection, DEEBOT will enter into Networked Standby mode if it has no signal input within 10 minutes.

Please be aware that the realization of intelligent functions such as remote startup, voice interaction, 2D/3D map display and control settings, and personalized cleaning (depending on different products) requires users to download and use ECOVACS HOME App, which is constantly updated. You need to agree to our Privacy Policy and User Agreement before we can process some of your basic and necessary information and enable you to operate the product. If you do not agree with our Privacy Policy and User Agreement, some of the aforementioned intelligent functions cannot be realized through ECOVACS HOME App, but you can still use the basic functions of this product for manual operation.

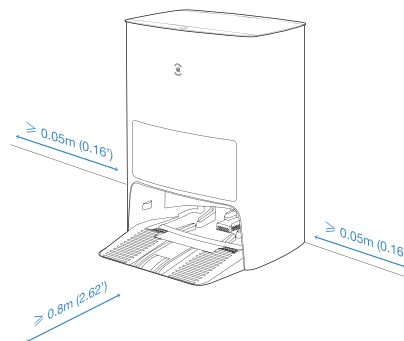
## Charging DEEBOT

### 1 Assemble OMNI Station



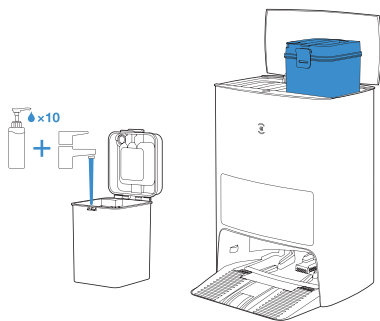
### 2 OMNI Station Placement

Keep the area around the Station clear of objects.



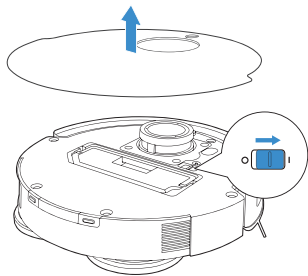
\* If there are reflective objects such as mirrors and reflective skirting lines near the Station, the bottom 14cm of that should be covered. Do not place the Station under direct sunlight. It is recommended to place the Station on the hard floor to experience complete functions of the robot.

### 3 Add Water to Clean Water Tank



**Note:** It is recommended to use ECOVACS DEEBOT Cleaning Solution (sold separately). Using other cleaning solution may cause DEEBOT slipping, water tank block and other problems.

### 4 Power ON

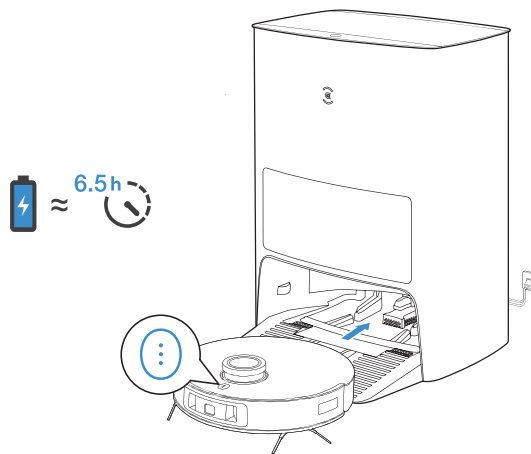


**Note: I = ON, O = OFF.**

DEEBOT cannot be charged when being powered OFF.

### 5 Charge DEEBOT

It is recommended that DEEBOT start cleaning from the Station. Do not move the Station while cleaning.





# Operating DEEBOT

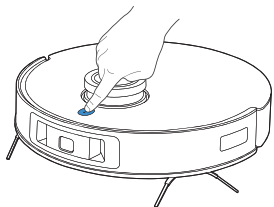
When creating a map for the first time, please follow DEEBOT to help eliminate some minor issues.

For example, DEEBOT may get stuck under the furniture. Please refer to the following solutions:

1. Raise the low sitting furniture if possible; 2. Cover the bottom of the furniture; 3. Set up Virtual Boundary via the App.

## 1 Start

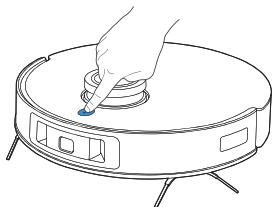
Tap  on DEEBOT or  on the OMNI Station to start.



**Note:** For the first-time cleaning, please ensure that DEEBOT is fully charged.

## 2 Pause/Wake Up

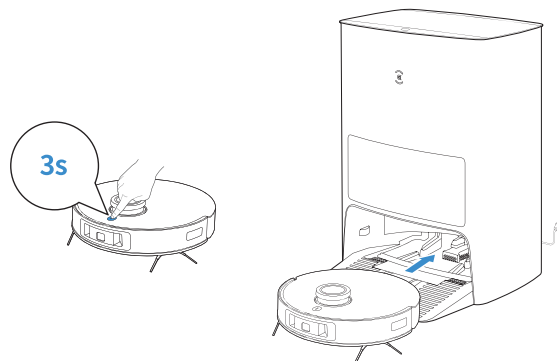
Tap  on DEEBOT or  on the OMNI Station to pause.



**Note:** The indicator light will go out after the robot is paused for a few minutes. Press the AUTO Mode Button on DEEBOT to wake up the robot.

## 3 Back to Station

Tap  for 3 seconds to recall DEEBOT to the OMNI Station.

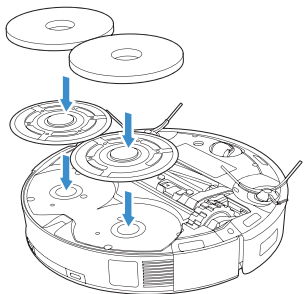


**Note:** When DEEBOT is not working, it is recommended to keep it switched ON and charging.

## Mopping

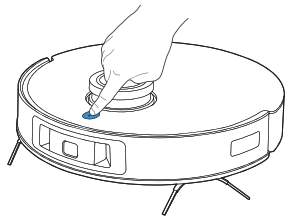
### 1 Attach the Mopping Pads and Mopping Pad Plates.

You would hear a “click” when the Mopping Pad Plates are properly installed.



### 2 Mop

Tap  on DEEBOT or  on the OMNI Station to start mopping.



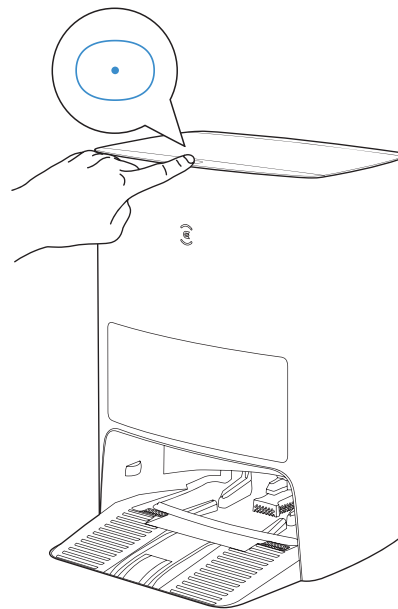
#### Note:

1. Do not frequently remove washable mopping pads.
2. Do not scratch the Mopping Pad Plates with a rag or any other object.
3. When the ECOVACS HOME App prompts that the mops need to be replaced, please replace them in time.

Explore more accessories at ECOVACS HOME App or at <https://www.ecovacs.com/global>.

## OMNI Station

Press the  button to Start/Pause/Resume cleaning.



# Regular Maintenance

To keep DEEBOT running at peak performance, perform maintenance tasks and replace parts with the following frequencies:

Robot Part	Maintenance Frequency	Replacement Frequency
Washable Mopping Pad	/	Every 1-2 months
Dust Bag	/	Replace when voice prompts
Dual Side Brushes	Once every 2 weeks	Every 3-6 months
Floating Rubber Brush	Once per week	Every 6-12 months
Filter (Dust Bin)	Once per week	Every 3-6 months
TrueDetect 3D Sensor TrueMapping Distance Sensor Universal Wheel Anti-Drop Sensors Bumper Charging Contacts OMNI Station Pins	Once per week	/
Cleaning Sink	Once every 2 weeks	/
Clean Water Tank	Once every 3 months	/
Dirty Water Tank	After each mopping	/
Dust Collection Cabin	Once per month	/
OMNI Station	Once per month	/
Filter (Cleaning Sink)	Once per month	/

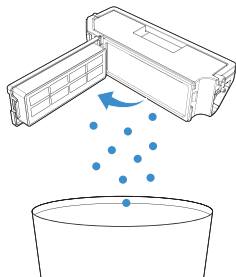
**Before performing cleaning and maintenance tasks on DEEBOT, turn the robot OFF and unplug the OMNI Station.**

**A multi-function cleaning tool is provided for easy maintenance. Handle with care, this cleaning tool has sharp edges.**

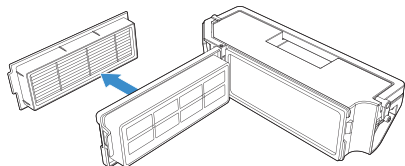
**Note:** ECOVACS manufactures various replacement parts and fittings. Please contact Customer Service for more information on replacement parts.

## Maintain Dust Bin and Filter

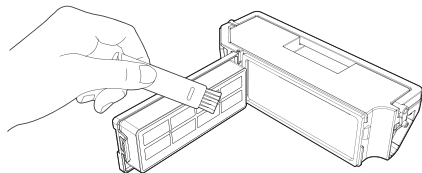
1



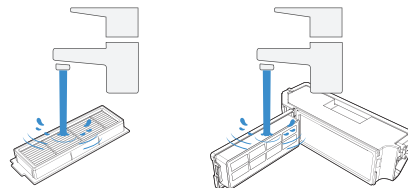
2



3



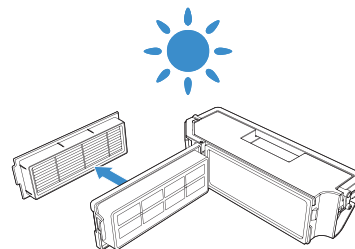
4



### Note:

1. Please rinse the filter with water as shown above.
2. Do not use finger or brush to clean the filter.

5

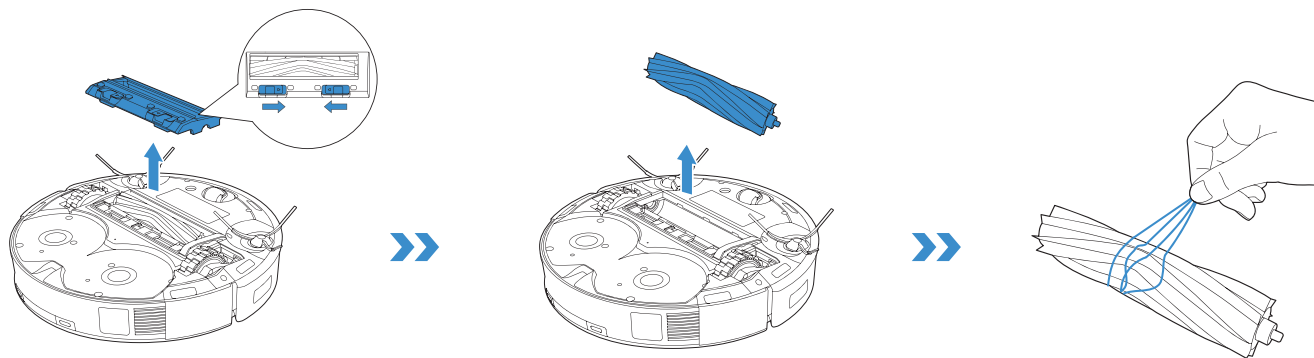


### Note:

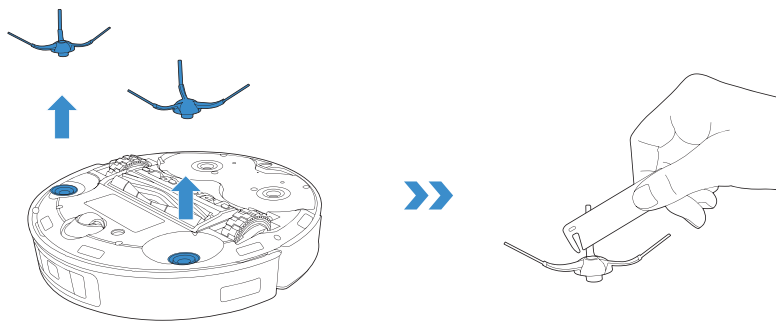
Completely dry the filter before use.  
Explore more accessories at ECOVACS HOME App or at <https://www.ecovacs.com/global>.

# Maintain Floating Rubber Brush and Dual Side Brushes

## Floating Rubber Brush

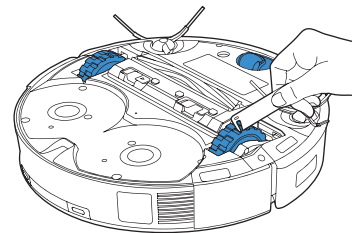
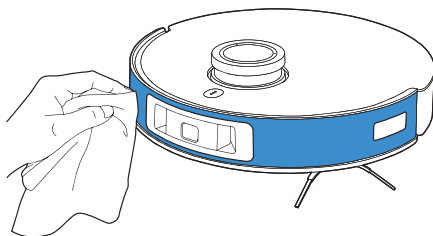
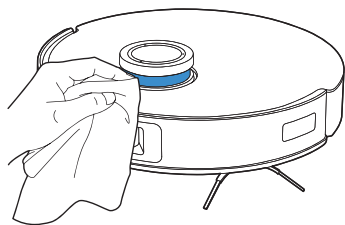
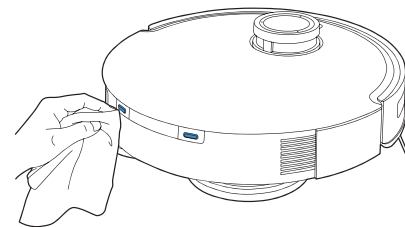
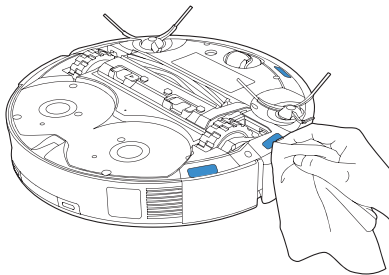
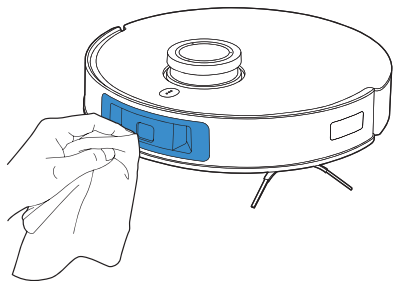


## Dual Side Brushes



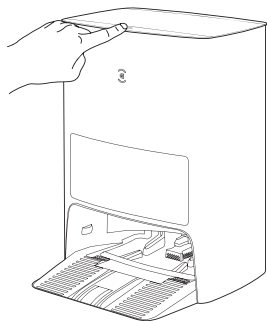
## Maintain Other Components

**Note:** Wipe the components with a clean, dry cloth. Avoid using cleaning sprays or detergents.



# Maintain OMNI Station

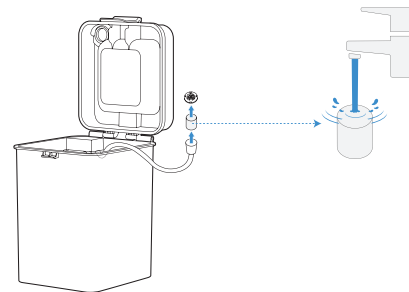
- 1 Press and hold the  button for 5 seconds to add water to Cleaning Sink



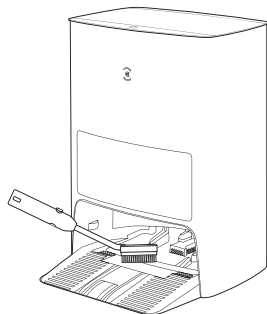
- 3 Press and hold the  button for 5 seconds to drain the water out of Cleaning Sink



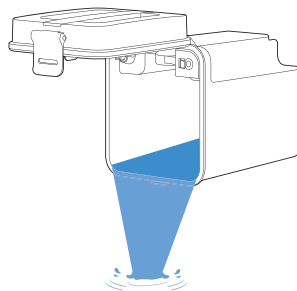
- 5 Clean the Clean Water Tank Filter



- 2 Clean Cleaning Sink



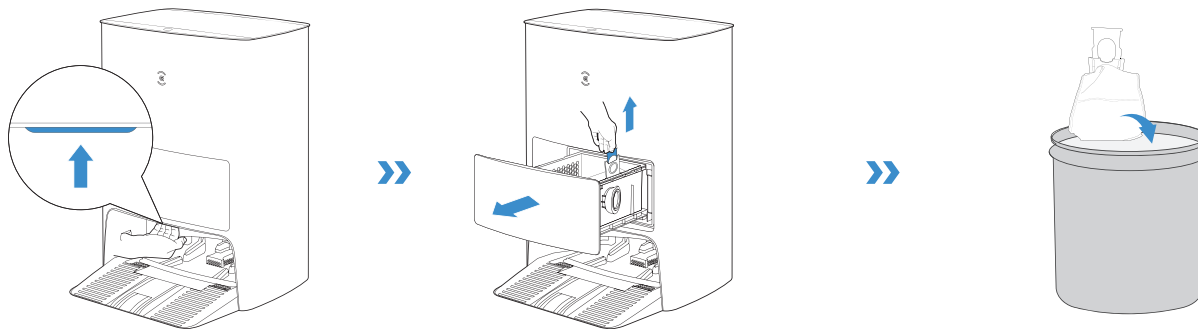
- 4 Empty Dirty Water Tank



## Maintain Dust Bag

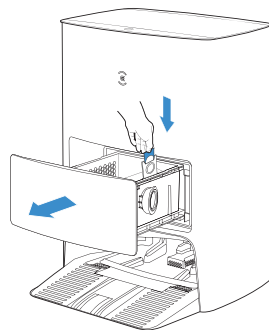
Before performing cleaning and maintenance tasks on DEEBOT, turn the robot OFF and unplug OMNI Station.

### 1 Discard the Dust Bag

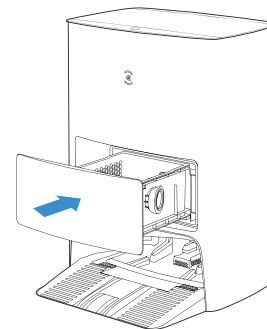


\* Hold the Handle to lift out the Dust Bag, which can effectively prevent dust leakage.

### 2 Clean the Dust Collection Cabin with a dry cloth and put a new Dust Bag in



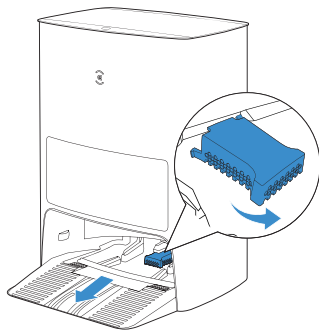
### 3 Close the Dust Collection Cabin



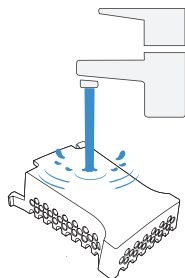


## Maintain Filter

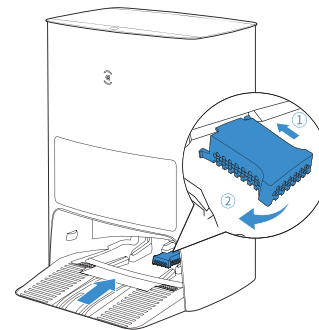
1 Take the Filter out



2 Wash the Filter

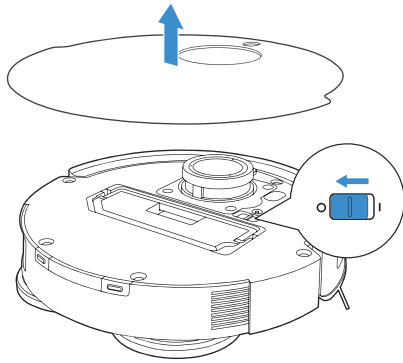


3 Install the Filter



## Storage

If DEEBOT will not be used for a while, fully charge DEEBOT and power OFF before storage. Charge DEEBOT every 1.5 months to prevent battery drain.



**Note:** When DEEBOT is not cleaning, it is recommended to keep DEEBOT powered ON and charging.

## Troubleshooting



No.	Malfunction	Possible Causes	Solutions
1	DEEBOT is not able to connect to ECOVACS HOME App.	Incorrect home Wi-Fi username or password entered.	Enter the correct home Wi-Fi username and password.
		DEEBOT is not within range of your home Wi-Fi signal.	Make sure DEEBOT is within range of your home Wi-Fi signal.
		DEEBOT is not in the configuration state.	Make sure DEEBOT is connected to the power supply and turned on. Open the cover, and press RESET Button. DEEBOT will enter the configuration state when you hear a voice prompt.
		Incorrect App installed.	Please download and install ECOVACS HOME App.
		Not using a 2.4GHz or 2.4/5 GHz mixed network.	DEEBOT does not support 5G network. Please use a 2.4GHz or 2.4/5 GHz mixed network.
2	The map is lost.	The map might be lost if you move DEEBOT when cleaning.	Move DEEBOT to the front of the Station to retrieve the map. Find the restored map in the Map Management and tap "Use This Map" to retrieve it. If this problem persists after trying the above solutions, please restart mapping.
3	Unable to create home map on App.	DEEBOT does not start cleaning from the Station.	DEEBOT must start cleaning from the Station.
		Move DEEBOT when cleaning might cause the map lost.	During cleaning, do not move DEEBOT as far as possible.
		Auto cleaning is not complete.	Make sure DEEBOT automatically return to the Station after cleaning.
4	The Dual Side Brushes drop out of place during use.	The Dual Side Brushes are not properly installed.	Make sure the Dual Side Brushes click into place when installing.

No.	Malfunction	Possible Causes	Solutions
5	No signal found. Unable to return to the Station.	The Station is incorrectly placed.	Please place the Station correctly according to the instructions in the <a href="#">[Charging DEEBOT]</a> section.
		The Station is out of power or manually moved.	Check whether the Station is connected to power supply. Do not manually move the Station.
		DEEBOT does not start cleaning from the Station.	It is recommended that DEEBOT start cleaning from the Station.
		The charging route is blocked. For example, the door of the room with the Station is closed.	Keep the charging route clear.
6	DEEBOT returns to the Station before it has finished cleaning.	The room is so large that DEEBOT needs to return to recharge.	Please enable Continuous Cleaning. For more details, please follow the App instruction.
		DEEBOT is unable to reach certain areas blocked by furniture or barriers.	Tidy up the area to be cleaned by putting furniture and small objects in their proper place.
7	DEEBOT is unable to charge.	DEEBOT is not switched ON.	Switch ON DEEBOT.
		DEEBOT's Charging Contacts are not connected to the Station Pins.	Make sure that the robot's Charging Contacts have connected to the Station Pins and the AUTO Mode Button flashes. Check whether DEEBOT's Charging Contacts and the Station are dirty. Please clean these parts according to the instructions in the <a href="#">[Maintenance]</a> section.
		The Station is not connected to the power supply.	Make sure the Station is connected to the power.
		The battery will be overcharged if DEEBOT is not used for a long time.	It is recommended to regularly use DEEBOT. If the battery cannot be charged because it has not been used for a long time, please contact Customer Care for help.
8	Running is very loud during cleaning.	Dual side brushes and floating rubber brush are entangled. Dust bin and filter are blocked.	It is recommended to clean the dual side brushes, floating rubber brush, dust bin, filter, etc. regularly.
		DEEBOT is in Max Mode.	Switch to Standard Mode.

No.	Malfunction	Possible Causes	Solutions
9	DEEBOT gets stuck while working and stops.	DEEBOT is tangled with something on the floor (electrical wires, curtains, carpet fringing, etc.).	DEEBOT will try various ways to free itself. If it is unsuccessful, manually remove the obstacles and restart.
		DEEBOT might be stuck under furniture with an entrance of similar height.	Please set a physical barrier, or set a Virtual Boundary via the ECOVACS HOME App.
10	During cleaning, DEEBOT appears in the route disorder, running bias, repeated cleaning, small area leakage and so on. (If there is a large area that has not been swept temporarily, DEEBOT will make up the leakage independently. )	Objects such as wires and slippers placed on the ground affect the normal operation of DEEBOT.	Please tidy up the scattered wires, slippers and other objects on the ground before cleaning. And reduce the scattered objects on the ground as far as possible. If there is any area leakage, DEEBOT will correct the leakage by itself, please do not interfere (such as moving DEEBOT or blocking the route).
		It may be that the Driving Wheels slips on the ground when DEEBOT climbs steps, thresholds and door bars, thus affecting the its judgment of the whole house environment.	It is recommended to close the door of this area and clean the area separately. After cleaning, DEEBOT will return to the starting location. Please rest assured to use.
		Work on freshly waxed and polished floors or smooth tiles, resulting in less friction between the Driving Wheels and the floor.	Please wait for wax to dry before cleaning.
		Due to different home environments, some areas cannot be cleaned.	Clean the home environment to ensure that DEEBOT can enter for cleaning.
		The TrueMapping Distance Sensor is dirty or blocked by foreign matters.	Wipe the TrueMapping Distance Sensor with a clean soft cloth or remove foreign matters.

No.	Malfunction	Possible Causes	Solutions
11	After returning to the Station, DEEBOT does not empty the Dust Bin.	Dust Collection Cabin is not closed.	Please close the Dust Collection Cabin.
		Dust Bag is not installed in the Station.	Install the Dust Bag, and close the Dust Collection Cabin.
		Manually moving DEEBOT back to the Station might not trigger Auto-Empty function.	It is recommended to let DEEBOT return to the Station on its own. Please do not manually move it.
		In Do Not Disturb mode, DEEBOT will not empty the dust after returning back to the Station.	Cancel Do Not Disturb mode in ECOVACS HOME App or manually start dust empty.
		The OMNI Station prompts the Dust Bag is full.	Replace the Dust Bag according to the [ <a href="#">Maintenance</a> ] section and close the Dust Collection Cabin. If the Dust Bag is not full when prompted by ECOVACS HOME App, you can put it back again.
		If the above possible causes have been ruled out, components of the Station may be abnormal.	Please contact Customer Care for help.
12	Fail to empty the Dust Bin.	The OMNI Station prompts the Dust Bag is full.	Replace the Dust Bag according to the [ <a href="#">Maintenance</a> ] section and close the Dust Collection Cabin. If the Dust Bag is not full when prompted by App, you can put it back again.
		The outlet of Dust Bin is blocked by foreign objects.	Remove the Dust Bin and clean the foreign objects on the outlet.

No.	Malfunction	Possible Causes	Solutions
13	The inner side of Dust Collection Cabin is dirty.	Fine particles are absorbed in the inner side of Dust Collection Cabin through the Dust Bag.	Clean the inner side of Dust Collection Cabin.
		The Dust Bag is broken.	Check the Dust Bag. Replace it.
14	Ash leakage occurs during working.	The outlet of Dust Bin is blocked by foreign objects.	Remove the Dust Bin and clean the foreign objects on the outlet.
15	Mopping Pad Plates cannot rotate.	Mopping Pad Plates are blocked by foreign objects.	Clean the foreign objects.
16	DEEBOT does not respond to the Station instruction.	DEEBOT is too far away from the Station.	If it is beyond the available distance, the ECOVACS HOME App can also be used to operate DEEBOT.
		DEEBOT and the Station are not paired.	Unplug the Station and wait for 10 seconds to plug again. Power off the robot and then turn it back on. Manually push the robot up to the Station, and ensure that the charging pins are correctly connected. Then, DEEBOT will start charging, and voice prompts pairing successful.
17	Fail to enable Child Lock.	Communication interruption between the Station and DEEBOT (For example: long distance or many partition walls)	Move DEEBOT near the Station to ensure smooth communication, and then enable Child Lock.
18	Driving wheels are blocked.	Driving wheels are blocked by foreign objects.	Please rotate and press the driving wheels to check whether there is any foreign object wrapped or stuck. If there is any foreign object, please clean it in time. If this problem persists, please contact Customer Care for help.

No.	Malfunction	Possible Causes	Solutions
19	When the water in the Cleaning Sink is full and cannot be drained out, the voice prompts that the Cleaning Sink is full.	The Dirty Water Tank is not properly installed.	Tap down on the Dirty Water Tank to ensure it is properly installed.
		The sealing plugs in the Dirty Water Tank is not installed properly.	Make sure to check that the sealing plugs are properly installed.
		The Station cannot drain water normally.	Press and hold  for 5 seconds. After the cleaning tank has been automatically filled with water, press and hold the OMNI Station for 5 seconds. If the problem occurs during the mopping pads cleaning process, end task by APP/Voice Command, and then press and hold twice  ( for 5 seconds ) to see whether the Station can properly draw the water. If the water is successfully drawn, wipe dry the Water Overflow Sensor of the Cleaning Sink. If the Station fails to draw the water, check between the Dirty Water Tank and the Station for foreign object and clean it.
		The suction port of the Cleaning Sink is blocked by foreign object.	Ensure that there is no foreign object in the suction port of the Cleaning Sink.
		The voice prompt still exists after trying the above solutions.	Unplug the Station and plug it again. If this problem persists, please contact Customer Care for help.
20	Mopping Pad Plates can't be lifted automatically.	Mopping Pad Plates are entangled or stuck by foreign objects.	Please remove foreign objects.
		Mopping Pad Plates fall off.	Reinstall the Mopping Pad Plates and you would hear a “click” when the Mopping Pad Plates are properly installed.



## Technical Specifications

<b>Model</b>	<b>DLX23</b>
Rated Input	20V === 2A
<b>Docking Station (OMNI Station)</b>	<b>CH2232</b>
Rated Input	100V ~ 50-60Hz 6.1A (Emptying) 1.0A (Mop-drying) 9.6A (Hot Water Mop Washing) 0.9A (Charging)
Rated Output	20V === 2A
Frequency Bands	2412-2484MHz

**Note:** Technical and design specifications may be changed for continuous product improvement.  
Explore more accessories at <https://www.ecovacs.com/global>.





**Ecovacs Home Service Robotics Co., Ltd.**

No.518 Songwei Road, Wusongjiang Industry Park, Guoxiang Street,  
Wuzhong District, Suzhou, Jiangsu, China.

451-2230-2602